

慢性的な疲労が要因

新小岩わたなべクリニック

神経内科 渡辺靖之医師



近年、勤労者の頸肩腕症候群が注目されています。パソコンやテスクワーカーにより目の疲れや頭こりが起ります。これが悪化し、全身がだるい、頭がボーッとして集中できなくなる、肩や腰に凝りが集中し、痛みがあるなどの病状が頸肩腕症候群です。アスクリークで腰痛をうつたえる場合、この頸肩腕症候群の腰痛タイプだと考えられます。

保育士や介護ヘルパーに多い腰痛症は、腰に負担がかかる姿勢をすることによって、疲労が慢性的に腰に蓄積し起こっていると考えられます。また、ぎ

みに腰は重いものを持ち上げようとしている、スポーツなどで腰にムリな力が加わり、痛めてしまうのです。ねんざのようなものなので、人間の自然治癒力を回復できます。

頸肩腕症候群、腰痛症とも慢性の疲労に起因するため、一番の療養は休養をしっかり取ることです。予防としては軽いストレッチをして血行をよくするといいでしょう。マッサージをして凝りをほぐしたり、睡眠時間を長く取ることも効果的です。スポーツや筋トレは疲労が蓄積するのでよくありません。ひどい場合は、職業性頸肩腕傷害や職業性腰痛症にくわしい医師を選んで診察を受けてください。